

特定医療費（指定難病）支給認定申請書

（ 軽 症 高 額 該 当 ）

★太枠内の内容をご記入ください（◎は記入不要）・裏面があります。

受診者	フリガナ	生 年 月 日		年齢
	氏 名	大正 昭和 平成 令和	年 月 日	歳
	住 所	郵便番号	□□□-□□□□	
		電話番号	(自宅)	(携帯)
1月1日現在の住所所在地	都・道 府・県	市・区 町・村	注 1月から6月までに申請する場合は前年の1月1日在住の市区町村、7月から12月までに申請する場合は当年の1月1日在住の市区町村を記入ください。	

↓ 受診者の住所地以外に送付を希望される場合は、下欄に送付先を記入してください。

送付先	フリガナ	受診者との関係		
	氏 名	郵便番号	□□□-□□□□	
	住 所	電話番号	(自宅)	(携帯)

病 名	①	②
現在の受給者番号 (新規は記載不要)	①	②

今回申請する受診者と同じ世帯内（同じ医療保険の加入者）にいる指定難病又は小児慢性特定疾病の医療費助成を受けている者又は申請中の者	有	指・小 氏名（ ） 受給者番号（ ）
	無	指・小 氏名（ ） 受給者番号（ ）

世帯員（受診者と同じ医療保険に加入している方）

受診者・世帯員氏名	受診者との続柄	16歳未満	ご加入の医療保険等 (いずれかに○)	個人番号 ※上段には12桁のマイナンバーを、下段には上記の注の例により1月1日現在の住所所在地を記載ください。
	本人	<input type="checkbox"/>		都・道府・県 市・区町・村
		<input type="checkbox"/>	社保・共済	都・道府・県 市・区町・村
		<input type="checkbox"/>	市町村国保	都・道府・県 市・区町・村
		<input type="checkbox"/>	国保組合	都・道府・県 市・区町・村
		<input type="checkbox"/>	後期高齢	都・道府・県 市・区町・村
		<input type="checkbox"/>	生活保護	都・道府・県 市・区町・村

16歳未満の方は、を記入してください。

【裏面にも記載をお願いします。】

《事務処理使用欄》

◎有効期間	◎階層区分	◎適用区分
1 年 月 日 ~ 年 月 日	生・低Ⅰ・低Ⅱ・一Ⅰ・一Ⅱ・上	
2 年 月 日 ~ 年 月 日	生・低Ⅰ・低Ⅱ・一Ⅰ・一Ⅱ・上	

添付書類	↓下記※欄については、支給認定申請時に提出されている場合は不要	受 付 印	
臨床調査個人票	※		マイナンバー関係書類等
健康保険証(写し)			市町村民税課税証明書
住民票			同一世帯内の特定疾患医療受給者票(写し)
保険者照会に係る同意書			同一世帯内の小児慢性医療受給者票(写し)
医療費申告書			不認定通知書

裏面

《記入事項 続き》

特定医療費の支給を開始することが
相当と考えられる年月日（※1，2）

年 月 日

【上記の欄が申請日から1か月以上前の年月日となっている理由】

- 臨床調査個人票の受領に時間を要したため
 症状の悪化等により、申請書類の準備や提出に時間を要したため
 大規模災害に被災したこと等により、申請書類の提出に時間を要したため
 その他

()

※1 原則として「臨床調査個人票の『診断年月日』又は「軽症高額の基準を満たした日の翌日」のいずれか早い日を記載してください（いずれか早い日まで遡って医療費助成を受けることができます）。

ただし、申請日から遡る期間が1か月（やむを得ない理由により申請できなかった場合は3か月）を超える場合は、申請日から1か月前（3か月前）の同じ日が医療費助成の開始日となります。

※2 複数の疾病について同時に申請される場合は、疾病ごとに特定医療費の支給を開始することが相当と考えられる年月日を記載してください。

私は、上記のとおり、特定医療費の支給を申請します。

京都府知事 様

年 月 日

申請者氏名

＜臨床調査個人票の研究等の利用についての同意について＞

私は指定難病の研究を推進するため、提出した臨床調査個人票が別添「研究利用に関するご説明」のとおり、指定難病の治療研究等、指定難病に係る研究及び政策を立案するための基礎資料として利用されることを同意します。

厚生労働大臣 様

年 月 日

申請者氏名

年度(年所得分)の市町村民税が、251,000円以上であり、自己負担上限額が最高階層となることを了承し、「市町村民税課税証明書」、本人以外の住民票及び健康保険証（写し）を提出しません。

氏名